

2018年度日本農業経済学会第2回常務理事会議事録

日時：2019年3月3日（日）午後1時30分～午後4時30分

於：東京大学農学部1号館農業・資源経済学会議室

出席：草苅会長、堀田総務担当副会長、山本編集担当副会長、南石企画担当副会長、草処会長補佐常務理事、関根学会賞・国内学術交流担当常務理事、大石財務担当常務理事、原田財務担当常務理事、角田情報担当常務理事、齋藤和文誌担当常務理事、福井英文誌担当常務理事、栗原企画担当常務理事、木島国際担当常務理事、中嶋大会開催校担当常務理事、黒瀧北海道地区担当常務理事、酒井北陸地区担当常務理事、保永中国地区担当常務理事、西川総務担当常務理事

欠席：櫻井国際担当副会長、井元東北地区担当常務理事、楨平中部地区担当常務理事、多田近畿地区担当常務理事、胡四国地区担当常務理事、大呂九州地区担当常務理事

事務局：共立（平賀氏、諏訪氏）

開会

草処会長補佐より、18名出席により常務理事会が成立していることの宣言があった。

1. 学会長挨拶

2. 2019年度東京大学大会について

2.1 企画担当報告

南石企画担当副会長、栗原企画担当常務理事より提案・報告があった。

- ・2020年度は東北大学を開催校として決定し、21年は茨城大学、22年は龍谷大学を第1候補とすることが承認された。
- ・2019年度の会長指名理事（東北大学大会・開催校担当）の選任について依頼することの報告があった。
- ・東京大学大会の個別報告数（口頭82件、ポスター14件、特別セッション1件）、ポスター掲示時間の変更（9:00～16:00から9:00～14:00に変更）について報告があった。

2.2 シンポジウム

草処会長補佐より、2019年度における連携委員会の活動内容（委員会開催1回、農林水産省との懇談会1回、シンポジウム検討会3回）、東京大学大会シンポジウムの内容について報告があった。

3.1 大会開催校

中嶋開催校担当より、東京大学大会の運営プラン及び準備状況について報告があった。

3. 各担当業務報告

3.1 総務

3.1.1 財務

大石財務担当より提案・報告があった。

- ・2018年度決算は、予算と比べて収入・支出ともに少なかったこと、学会誌発行引当金繰入・国際交流負担金が少なかったことが報告され、承認された。
- ・「財産目録」中の「早稲田大学大会参加費・懇親会費」「研連会計」については、返金する相手が不明であるため、次年度に雑収入として繰り入れすることが承認された。
- ・監査報告における指摘事項（①会費納付率のさらなる改善（現在90.0%）、②経費節減、③「早稲田大学大会参加費・懇親会費」の処理、④一般会計の繰越金の処理方法の変更等、会員に決算内容を分かりやすく提示する必要性）が報告された。

3.1.2 学会賞・国内学術交流

堀田総務担当副会長より、関根学会賞・学術交流担当より提案・報告があった。

- ・学術賞（2件）、奨励賞（1件）の選考について報告があり、理事会に提案することが承認された。
- ・農学会農学教育推進委員会（JABEE）からは脱退する方向で検討することとし、理事会に提案することが承認された。
- ・日本学術振興会賞の応募について、学会ホームページで公開することが承認された。
- ・2018年度の活動（①農業農村工学会（2018年9月6日）への近藤巧会員の派遣、②大会中の農業経済学関連学会協議会の開催、③日本農学会シンポジウム（2019年10月5日）への吉田謙太郎会員の派遣、④日本経済学会連合『英文年報』への執筆、⑤JABEEへの出席）が報告された。

3.1.3 情報

角田情報担当より、J-Stage 早期公開の具体的な手順、和文誌 88 巻、63～65 巻の J-Stage への搭載が完了したことが報告された。

3.1.4 総務

堀田副会長より提案があった。

- ・次期総務担当常務理事候補を総会に推薦することが承認された。
- ・総務担当常務理事選出ローテーション一巡後の対応方向（①今後も「11 枠」で回すこと、②会員数が少ない機関同士の統合を図ること、③関東地区以外で会員数が多い期間にローテーション参加を求めること、④ローテーションの詳細について 2019 年

度第 2 回常務理事会に諮ること、⑤個別報告申請システムの導入を検討すること)が承認された。

3.2 和文誌・英文誌編集

山本編集担当副会長より、齋藤和文誌担当、福井英文誌担当より提案・報告があった。

- ・和文誌・英文誌編集委員長、及び編集委員の交代が承認された。
- ・学会誌賞（1 件）について報告があり、理事会へ提案することが承認された。
- ・会誌の発行状況、論文の採択率等、編集の状況について報告があった。なお、Research Letters の 2018 年度採択率が低い点については、①北大大会 5 月開催のために査読期間が短かった、②非ネイティブの投稿であるので英語の校閲に時間がかかったことが指摘された。
- ・岩波書店との和文誌・契約更新について報告があった。

3.3 国際

木島国際担当より提案・報告があった。

- ・アジア農経学会日本開催のため、特別会計Ⅱ中の会計項目の明示化が承認された。
- ・国際委員会委員の退任と補充が承認された。
- ・日韓シンポジウムとは別に、韓国以外のアジア諸国との国際シンポジウムを実施する方向で国際委員会として取り組んでいくことが承認された。

3.4 連携

草処会長補佐より、東京大学大会シンポジウム特集号企画の英文誌編集委員会への依頼、及び英文校閲料金の学会会計からの負担について報告があった。

4. 農業経済学事典編集状況について

草処会長補佐より、2019 年 10 月 15 日に刊行予定であることが報告された。

5. 2019 年度予算案について

大石財務担当より提案・報告があった。

- ・予算案は承認され、理事会に提案されることになった。
- ・前年度予算と比べて収入・支出ともに減少を見込んでいること、学会誌発行引当金繰入も減少を見込んでいること等が報告された。

6. 総務担当常務理事からの確認事項について

草処会長補佐より報告があった。

- ・2018 年度会員数（正 1,077 人、名誉 49 人、学生 407 人、購読 13 人、合計 1,546 人）

- 及び入退会の状況（入会 75 人（正 25 人、学生 50 人））が報告された。
- ・各担当からの提案に対応した、会則・規程・細則改正の必要性について依頼があった。
 - ・東京大学大会における幹事会（3 月 29 日（金）17 時～18 時）、理事会（同 18 時～20 時）の開催案内があった。

閉会

以上。